

2017 年度合格体験記

2017（高校）

開成高・筑波大学附属高・渋谷教育学園幕張高合格 K・T（茨大附属中）

中学三年生になってからの「早稲アカ難関科」では毎週のようにレベルの高い問題に挑戦し、その度に難しい問題を解くことができる喜びや、解くことができなかつた悔しさを味わうことで「もう一度その喜びを味わうことができるように」「もう二度と同じような悔しさを味わうことがないように」と自然に勉強することへの意欲が駆り立てられ、成績が上昇するという循環のもと自分の自信が増していった。また、同じような目標を持った仲間と共に競い合ったり、励まし、アドバイスし合ったりしたこともまた、入試を迎えるにあたって精神的な支えとなった。中学三年生になってからの「早稲アカ難関科」では毎週のようにレベルの高い問題に挑戦し、その度に難しい問題を解くことができる喜びや、解くことができなかつた悔しさを味わうことで「もう一度その喜びを味わうことができるように」「もう二度と同じような悔しさを味わうことがないように」と自然に勉強することへの意欲が駆り立てられ、成績が上昇するという循環のもと自分の自信が増していった。また、同じような目標を持った仲間と共に競い合ったり、励まし、アドバイスし合ったりしたこともまた、入試を迎えるにあたって精神的な支えとなった。

慶應義塾湘南藤沢高等部・江戸川学園取手高（A特待）合格 K・S（茨城大学附属中学校）

私は中 1 の 4 月に入塾しました。最初は目標も無く、日々の予習をこなすだけで復習等を全くやらずに過ごしていました。しかし中 3 からの早稲アカ難関クラスでの授業を受けてからは、努力をして学力を向上させたいと思うようになりました。授業は大変スピードが早くついていくのが大変でしたが、ポイントを踏まえた先生方の授業は適切で分かりやすく勉強の楽しさを実感できました。また、早稲アカ難関クラスの友達と授業を共にすることがとても刺激となり、やる気につながりました。そして、首都圏の高校を目標とするようになってから、長期的な学習プランと短期的な具体的な学習プランを立て、期限を設けて勉強するようになりました。エンジンがかかるのが遅かつたためなのか、成績が上がらず苦しい時期もありましたが、最後まで諦めずに頑張った結果、志望校に合格することができました。

早稲田大学本庄高等学院・慶應義塾湘南藤沢高等部・江戸川学園取手高（B 特待）合格
S・T（大島中学校）

「早稲アカ難関クラスで頑張ってみないか。」中三の四月、先生にかけられた、私の人生を激変させた一言だった。県立を受けるつもりだった私は「せつかくの高校受験、首都圏難関校がどんなものか見たいな。」くらいの気持ちで周りより一ヶ月遅れで早稲アカ難関の授業に出た。それから私は必死になった。負けたくないと思うクラスメイト、絶対行きたいと思う高校が見つかったからだ。途中、勉強しても伸びない時期もあり、悔しい思いも何度も何度もした。早慶受験を諦めようか悩むときもあった。でもクラスのみんなの頑張っている姿、先生の本気の授業を肌で感じていると、悩みは吹っ切れた。ネットで自分の合格を確認したとき、今私が感じているものこそが達成感であり、やっと今までの努力が報われたと、感動した。

慶應義塾高・江戸川学園取手高（B 特待）合格 K・W（茨城大学附属中学校）

自分が第一志望校に合格するまでに様々なことがありました。中学校一年生になる前、自分の通っていた塾に満足がいかず、厳しいと聞いた水戸アカデミーに転塾しました。通い始めて僕はすぐに、私語の少ない授業の中で集中できて、自分にあっていると思いました。中3の8月に早稲田アカデミー主催の夏期合宿に参加して、早稲田アカデミーの生徒らと間近に競争すると、自分を変えなくてはいけないとそこから本気を出し頑張りました。難しいものだけでなく、基礎を見直し、さらに毎週の授業をしっかりと聞きました。自宅では首都圏受験専門の問題集を買い、ひたすら解き、模試を受けるために早稲田アカデミーにも何度か足を運んだりもしました。そうして模試で基準点を超えた僕は、早稲田アカデミーの塾生たちとともに正月特訓に参加しました。そして、毎回行われるテストで十分競り合っていける点数を出したりしました。他塾であれば今回の合格はありませんでした。先生方、水戸アカありがとうございます。

慶應義塾高・慶應義塾湘南藤沢高等部合格 K・Y（水戸英宏中学校）

水戸アカデミーに入塾して得たものは、大きく分けて三つあります。一つ目は、「自分から勉強する習慣ができた」ことです。二つ目は「絶対的な学力」です。国内トップ校を目指す仲間と共に学習し、競い合えたことで、首都圏の人たちにも負けられないような学力を身に付けられました。三つ目は「自信」です。先生方が自信を持っている分、その授業を受ける私たちも「この先生方に教わっているのだから大丈夫だ」という自信が持てました。受験において何よりも大切なことは、自信を持つことでしょう。私は水戸アカデミーで学び、努力してきたことを自信に変え、入学試験に臨みました。自分で努力し、目標を達成させられたことは受験だけでなく、今後の人生においても大きな自信になるはずで

市川高合格 A・M (茨城大学附属中学校)

私は中学 3 年になる直前の 3 月に水戸アカデミーに入塾しました。入りたい高校のレベルが高かったため、早稲アカ難関クラスに入りました。首都圏の難関高校向けの授業だったので、内容は難しく、予習・復習をするのが大変でした。そんな苦しむ私を水戸アカの先生方は支えてくださいました。授業後の短い時間、わからなかった問題を丁寧に解説して

くださったり、対策プリントを作ってくださいました。そして私は入試 2 ヶ月ぐらい前から、テストの点数を気にするのではなく、どこを間違えたか、そしてなぜ間違えたのかを気にするようになりました。1つ1つ丁寧に復習することを重視しました。合格発表のとき自分の番号を見つけ、嬉しさと共に、支えてくださった先生方への感謝の気持ちでいっぱいでした。

開成高・水戸一高合格 Y・S (水戸二中)

早稲アカ難関科のよさは、少数精鋭であることだと思います。人数の少なさに関わらず、非常に多彩でレベルの高いメンバーがいて、良い刺激を受けたことが多々ありました。また、クラスの雰囲気もとても良かったので、互いに分からない問題を教え合い、自分にはない発想や知識を得ることができました。授業のレベルはかなり高度で、ついていけなくなりそうになる時もありましたが、先生方の丁寧な説明によって、授業の内容をしっかりと定着させることができました。

水戸一高合格 H・U (東海中)

水戸アカに通う中で、私にとってライバルとなる仲間の存在は非常に大きいものでした。九月から開講した水戸一必勝。最初の頃は成績上位者一覧に名前が載ることがなく、とても悔しい思いをしました。「次こそは名前が載るように頑張ろう」と普段の授業を今まで以上に集中して受け、予習・復習を徹底して行うよう心がけました。そして順位も上がっていき自分の実力が上がっていることを実感することができました。本当にありがとうございました。

水戸一高合格 T・S (茨大附属中)

私は、水戸第一高校に合格した時、言葉にならないほど感慨深く、嬉しい気持ちになりました。祖父母や父に電話をするときにとっても嬉しかったです。水戸アカの先生方は、一人一人の学力だけでなく性格、特徴なども考慮して指導をして下さいました。水戸アカの教育で最も重要なのが、予習・復習だと私は思います。一単元あったとしてまず、水戸アカの予習から入って授業をはさみ、復習。それを学校でも行って二重、また中三の最後に再び予習・授業・復習をして、少なくとも三重の学びでほぼ完璧な学力を身につけられます。そのためにも水戸アカの予習・復習でしっかりとした本物の学力を身につけるのが良いと思います。最後に水戸アカは最高の塾だと私は思っています。

水戸一高合格 M・K (平沢中)

入塾した頃は、水戸一高に行きたいけれど、きっと無理だろうと考えていました。しかし水戸アカの先生達の助言や周りの友人の影響もあり、「本気で水戸一高を目指したい」と心

に火がつけました。私はテストでのケアレスミスがとにかく多く、平気で30点は失っていました。しかし、水戸一必勝クラスで、何回も県立形式で練習したことで、ケアレスミスがかなり減り、ラストで満足のいく点がとれるようになりました。私の合格は、水戸アカの先生方を含め、多くの人に支えてもらって勝ちとれたものです。本当にお世話になりました。

水戸一高合格 K・H (勝田一中)

私は、毎週あった水戸一高必勝コースや、正月特訓、入試直前最終特訓で短時間で問題を解く練習をたくさん行いました。それらが役に立ち、緊張することもなく無事に県立入試

を終了し、合格することができました。結果として、あの全県模試よりも50点も点数が上がっていて、満足して受験を終えることができました。水戸アカでは予習→授業→復習というスタイルが確立しています。私はこれからも、水戸アカで身につけたこのスタイルで頑張っていきます。これから受験を迎える皆さんも、このスタイルを自分で確立し、合格に向けて頑張ってください。

水戸一高合格 S・R (茨大附属中)

私は、小学生の頃から水戸アカデミーにお世話になりました。水戸アカデミーの勉強方法は、予習→授業→復習というスタイルで、これは受験のとき、とても役に立ちました。予習では、自分の分からない部分を明確にし、授業で、その部分の解決をして、復習をすることで次からは解けるようにする。つまり自分のものにするすることで、できる問題が増えていくからです。このスタイルで勉強をすることで、点数が確実に上がることに私は気付きました。私が、中学受験のときに引き続き、高校受験でも合格という切符をつかめたのは、水戸アカデミーのおかげです。

水戸一高合格 H・M (笠原中)

私が水戸一高に合格することができたのはいつも熱心に教えてくれた水戸アカデミーの先生方のおかげです。学校とはまったく違うレベルの高い授業や水戸一高必勝コースでのわかりやすい授業、解説で水戸一高合格に少しずつ近づいていけました。水戸アカデミーの先生方にはとても感謝しています。そして、水戸アカデミーでは受験だけでなく、高校で

の学習にもつながっていくいろいろなことを教わりました。水戸アカデミーで学んだことを高校でも活かしていきたいです。

水戸一高合格 Y・N（東海中）

入塾した頃は、量の多く内容の難しい予習や、周りの人達のレベルの高さに圧倒され、「これでは第一志望の高校に合格できないのではないだろうか。」などとばかり思っていました。しかし、先生方の丁寧な授業や、正月特訓などを体験していくうちに、どんどん力が身に付いて、点数がぐんと上がりました。それに比例するように、自信もつきました。そしてむかえた受験当日。不安はありましたが、先生方の言葉や支えや自分のやってきたことを信じて受験に臨み、合格することができました。

水戸一高合格 S・H（大久保中）

三年生は特に、勉強のために多くのことを我慢しなければならなくてとても辛い時もあると思います。私も正直、自分の唯一の楽しみであった 3DS を没収された時は、深く絶望しました。しかし、今が頑張り時です。頑張った暁には輝かしい未来があると信じて、最後まで走り抜きましょう！合格はゴールではありません。これからも中学校で学んだことを活かして、頑張っていきたいと思います。水戸アカデミーでの 3 年間は、本当に楽しかったです。水戸アカ最高！